

## 肝炎ウイルス検査に関する地方自治体等からの 情報提供に関する研究

研究分担者 浅井 文和 国立国際医療研究センター 肝炎情報センター 客員研究員

### 研究要旨

【背景】肝炎ウイルス検査に対して地方自治体や新聞等からインターネット等を通して提供されている情報は、検査受検を効果的に進めるために住民にとって貴重な情報である。ただ、情報提供の内容は自治体毎の内容の違いや、新聞の報道年次による内容の違いがあり、違いの現状を分析する必要がある。【方法】(1) 各都道府県のインターネットサイトから肝炎ウイルス検査に関する情報提供のテキストを抽出して計量テキスト分析用フリー・ソフトウェア KH Coder で分析した。(2) 新聞記事を通じての肝炎に関する情報提供の経年変化を調査するため A 新聞の記事データベースを分析した。【結果】(1) 各都道府県からの情報提供内容は検査の受け方などの基本的な点はまんべんなく説明されているものの、早期治療や医療助成などへの説明の濃淡があった。(2) 新聞記事による情報提供は年ごとに変化が激しく安定した情報提供ではなかった。【結語】肝炎ウイルス検査に関して都道府県からの情報提供内容には都道府県毎のばらつきがあった。新聞記事も不十分なため、住民への充実した情報提供のためには、地域の実情に応じた丁寧で十分な情報提供が求められる。

### A . 研究目的

検査受検から受診、受療に至るステップを前に進めるには、検査を受ける一般住民が適切に情報を入手・理解することが求められる。一般住民に対する肝炎ウイルス検査に関する情報源としては、各自治体からの情報提供や、新聞・テレビ等メディアからの情報があるがその内容分析はあまりされてこなかった。

今回、(1)肝炎ウイルス検査に関して各都道府県からのインターネットを通じた情報提供、(2)全国紙からの肝炎に関する情報提供について定量的に分析し、課題を探った。

### B . 研究方法

#### (1)自治体からの情報提供

全国 47 都道府県が住民向けに情報提供している肝炎ウイルス検査に関するインターネットサイトから、説明文を抽出し、計量テキスト分析用フリー・ソフトウェア KH Coder ver.2.00f (参考文献：樋口耕一 2014 『社会調査のための計量テキスト分析 内容分析の継承と発展を目指して』ナカニシヤ出版)を使って特徴を分析した。

都道府県サイトURLは厚生労働省の「各自治体の「肝炎ウイルス検査」についての取組」(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekka-ku-kansenshou09/linklist02.html>)を参照した。一部のリンク切れは手作業で検索した。サイトのテキストをもとに分析用データファイルを作成した。ひとつの県はサイト改修中で該当ペ

ーが見つからず分析の対象にしなかった。

## (2) 新聞記事からの情報提供

肝炎に関して一般国民に広く行き渡る情報源のひとつとして新聞記事の内容についてこれまでの情報提供内容を把握するため、全国紙のひとつ、A新聞の記事データベースを使って記事本数と内容の分析をした。

### (倫理面への配慮)

本研究は人を対象とせず、個人情報を含まないテキスト分析であるため、倫理審査の対象にならなかった。

## C . 研究結果

### (1) 自治体からの情報提供の分析

分析不能の1県を除く全国46都道府県の説明文テキスト全体を分析対象とした。KH Coderによって抽出された単語の出現回数の上位15語は表1の通りある。

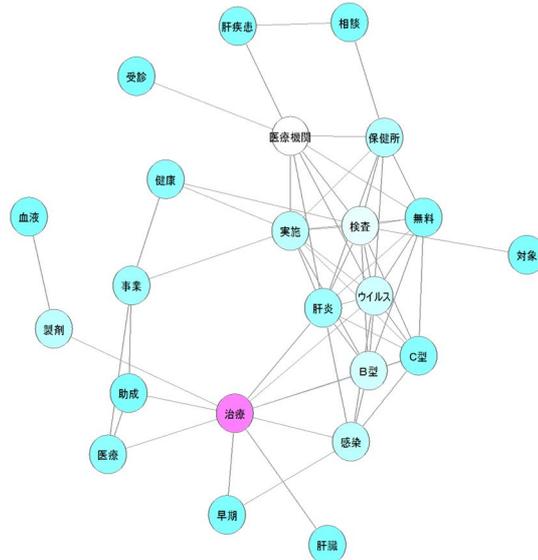
(表1) 全国の説明文テキストで出現回数が多い抽出語の上位15語

順位	抽出語	出現回数
1	検査	724
2	肝炎	670
3	ウイルス	535
4	感染	197
5	医療機関	178
6	保健所	157
7	実施	144
8	C型	139
9	B型	136
10	治療	112
11	無料	105
12	健康	83
13	対象	74
14	受診	71
15	肝臓	59

これらの抽出語で出現パターンが似通った語(共起の程度が強い語)を線で結び、共起

ネットワークを作成すると、図1の結果が得られた。

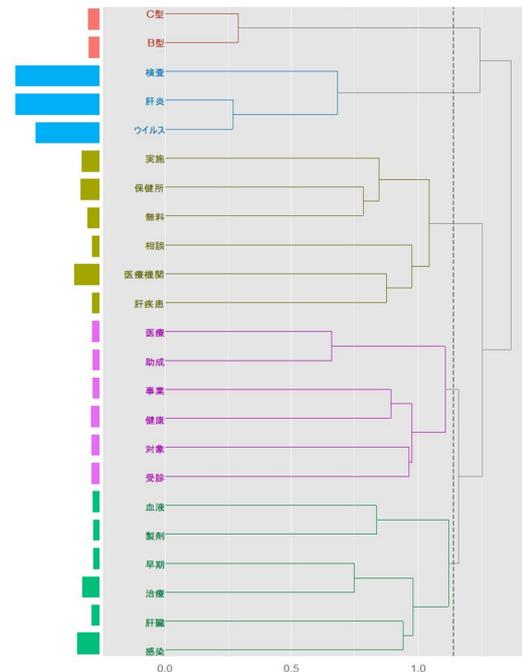
(図1) 抽出語の共起ネットワーク



これを見ると、「B型」「C型」「肝炎」「ウイルス」「検査」「無料」「保健所」などという肝炎ウイルス検査とその受け方の説明に関するグループ、「治療」「助成」「早期」などの早期治療の説明に関するグループが見られる。

さらに、これの抽出語の階層的クラスター分析を行った(図2)。

(図2) 抽出語の階層的クラスター分析



分析結果を見ると、上から、肝炎ウイルス検査に関する「C型」「B型」「検査」「肝炎」「ウイルス」のクラスター、検査の受け方に

関する「実施」「保健所」「無料」「相談」「医療機関」「肝疾患」のクラスター、治療や医療費助成制度の「医療」「助成」「事業」「健康」「対象」「受診」のクラスター、肝炎ウイルス感染リスクの「血液」「製剤」のクラスター、肝炎早期治療の「早期」「治療」「肝臓」「感染」のクラスターという主に5つのクラスターに分けることができる。

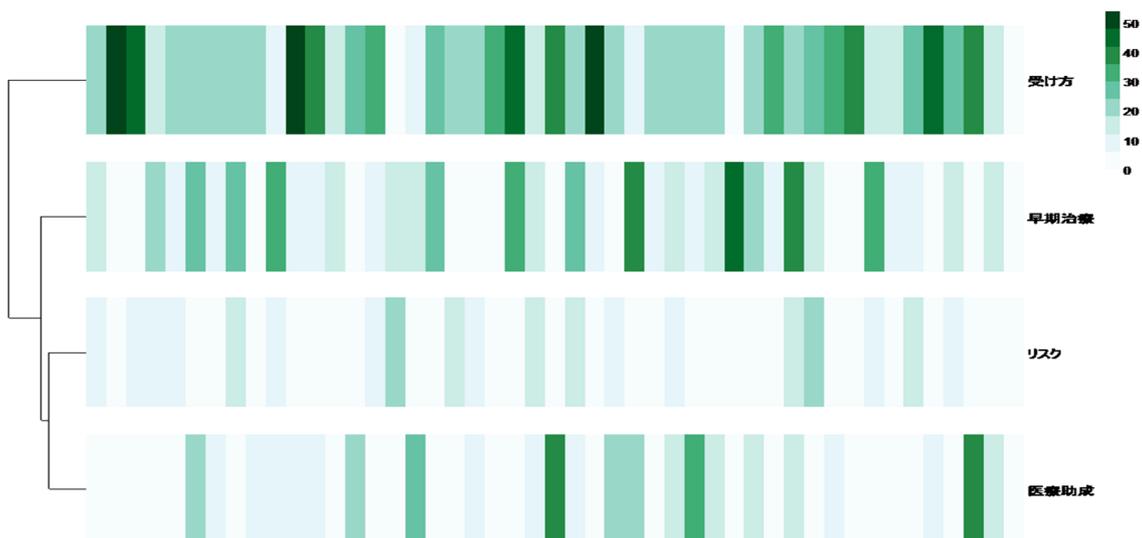
5 クラスターのうち、「肝炎ウイルス検査」に関する説明があるのは当然なので除外し、「受け方」「医療助成」「感染リスク」「早期治療」の4つの構成要素が、各都道府県の説明文テキストの中での出現率を調べた。

コーディングルールとして、4つの構成要素ごとに、以下のように検索するコード(検索する単語)を決めた。

受け方 保健所 or 医療機関 or 無料  
 医療助成 助成 or 事業 or 受診  
 感染リスク 血液 or 製剤 or 輸血  
 早期治療 早期 or 治療 or 感染

都道府県ごとに のコード(単語)の出現率% (各都道府県でコードが該当する文の数 ÷ 各都道府県の説明テキスト全体の文の数 × 100) を求め、ヒートマップにしたのが図3である(都道府県名の表示は省略した)。

(図3)各都道府県の説明文で4つの要素の出現率を示すヒートマップ(緑色の棒が濃い方が高出現率。棒1つが1都道府県)



このヒートマップを見ると、都道府県ごとに説明文の4つの構成要素に大きな違いがあることがわかる。「受け方」は各都道府県でほぼまんべんなく説明されていた。「早期治療」や「医療助成」はそれに次いで多い割合で説明されていたが、都道府県によって出現率かなりの違いがあった。「感染リスク」は全体的にはあまり大きな説明要素になっていなかった。

## (2) 新聞記事からの情報提供

新聞記事については日刊紙(A新聞)の2010~2017年の記事をキーワード「肝炎」で検索した。該当記事316件を内容分類すると、薬害152件(48%)、予防治療60件(19%)、患者体験談52件(16%)、研究27件(9%)など。

年別ではB型肝炎訴訟が目立った2010年(99件)と2011年(69件)、B型肝炎ワクチン定期接種化の2016年(37件)に増加したものの年別変動は大きく、安定した情報提供にはなっていなかった。

## D. 考察

都道府県からの情報提供に関しては、説明文テキストにかなりのばらつきがあることがわかった。都道府県ごとの事情によって肝炎ウイルス検査にどれだけ注力するかの

違いはあるものの、情報提供内容が最近更新されていない都道府県もあり、情報提供内容の見直しが必要な場合があると考えられる。

新聞記事を通しての情報提供は安定しておらず、最新の情報を継続的に新聞記者等に提供していく試みが考えられる。

## **E . 結論**

計量テキスト分析などの手法を用いて、肝炎ウイルス検査に関して都道府県からの住民向け情報提供や、全国紙の肝炎に関する新聞記事を分析した。情報提供内容にかなりのばらつきがあることが判明した。

## **F . 研究発表**

### **1 . 論文発表**

なし

### **2 . 学会発表**

なし

## **G . 知的所有権の取得状況**

### **1 . 特許取得**

なし

### **2 . 実用新案登録**

なし

### **3 . その他**

なし